

「第17回 大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」式次第

1 日 程：平成29年12月22日（金）13:00～18:50

2 会 場：福岡市役所 15F「講 堂」（13:00～17:45 開会式・プレゼンテーション・講演会・表彰式）
15F「食 堂」（17:50～18:50 交流会）

3 プログラム

(1) 【第一部】開 会 式・プレゼンテーション 13:00～16:05

① 主催者挨拶：大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行委員長 貫 正義
(一般社団法人九州ニュービジネス協議会 会長) (九州電力㈱ 代表取締役会長)

② コンテスト概要・審査要領 説明

③ プレゼンテーション

	学校名	学部名	代表者	プラン名
13:15～13:35	九州大学	大学院工学府 物質創造工学科	石濱 航平	ワクチンシールの開発・販売 医療を身近に、感染症リスクのない世界を実現
13:35～13:55	大分大学	経済学部	板井 瑠菜	かぼす蚊取り線香 大分名産かぼすの香りで気持ちも爽やかに！
13:55～14:15	九州大学	大学院 統合新領域学府	王 シンシン	Virtual "Bottle keep" System どうも、効率的な接客ぶり、無駄ないボトルキープ Virtual BKです
14:15～14:35	宮崎大学	医学部 医学科	大立目 真臣	Remote Hospital 簡単に取り組める疾患治療
14:35～14:45	休 憩			
14:45～15:05	宮崎大学	工学部 環境IT技術学科	木下 大輔	TOBE (トゥービー) What do you want TO BE?
15:05～15:25	福岡女学院 大学	人文学部 現代文化学科	櫻井 美月	THE 寺子屋 空白の時間が夢で満たされる 文系女子大生が考案した 新学習モデル これで高校3年生が変わります。
15:25～15:45	有明工業 高等専門学校	電子情報工学科	角 佑都	九州から始める農業革命 担い手づくりを支援する「人に優しい超精密農業」
15:45～16:05	北九州工業 高等専門学校	生産デザイン工学 専攻	藤原 雛子	スマートグラスで実現する介護シーンのRPA this is next generation

(2) 【第二部】基調講演 16:15～17:00

講 師：株式会社オプティム 代表取締役社長（佐賀大学招聘教授） 菅谷 俊二 氏

(3) 【第三部】表 彰 式 17:10～17:50

表 彰：グランプリ 大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行委員長 貫 正義
九州経済産業局長賞 九州経済産業局 地域経済部長 最上 賢治
九州経済連合会長賞 九州経済連合会 産業振興部長 文野 唯史
優 秀 賞 大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行副委員長 嶋 崎 直
NEDO 特別賞 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部統括主幹 江口 弘一

講 評：大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト審査委員長 古賀 光雄
(古賀マネージメント総研㈱ 代表取締役社長)

4 交 流 会 17:55～18:50

開会挨拶：大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 実行副委員長 嶋 崎 直
(日刊工業新聞社 西部支社長)

受賞者感想：各プラン代表者 全員

第17回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト ファイナリストのご紹介

大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会

12月22日（金）の最終審査会にて、下記8プランのうち、グランプリ、九州経済産業局長賞、九州経済連合会長賞、優秀賞、NEDO特別賞が決定します。

（学校名50音順 敬称略）

	学校名	学部名	代表者	共同提案者	プラン名	プラン概要
1	九州大学	大学院工学府 物質創造工学科	石濱 航平	河上 春菜 岩川 龍之介 高橋 諒 井上 宙夢 山川 冬馬	ワクチンシールの開発・販売 医療を身近に、感染症リスクのない世界を実現	我々は、九州大学が保有する特許技術を用いた「シール型のワクチン薬」の開発・販売を行う。本事業により「病院に行かないとワクチンが打てない」という常識を覆し、誰もが自身で予防接種が行えるワクチンを提供する。顧客は、全国の薬局やコンビニで本製品を買い、敢えて病院に行かずとも、仕事をしながらワクチンの摂取が可能となる。
2	大分大学	経済学部	板井 瑠菜	—	かぼす蚊取り線香 大分名産かぼすの香りで気持ちも爽やかに！	かぼす蚊取り線香には3つの魅力があります。1つめは、大分名産かぼすを使用していることです。2つめは、かぼすの成分を有効活用していることです。3つめは、摘果かぼすを有効利用していることです。このビジネスの目的は、かぼす農家の方の困りの解決、さらには全国的なかぼすの知名度向上です。摘果かぼすは農家から無償提供、原材料は研究開発で自己調達化を可能にする等の工夫で、収益を生み出します。
3	九州大学	大学院 統合新領域学府	王 シンシン	清水 淳史 中島 一 小石 健仁 江口 敦也	Virtual "Bottle keep" System どうも、効率的な接客ぶり、無駄ないボトルキープ Virtual BKです	居酒屋に Virtual "Bottle keep" Systemを提供します。現在のボトルキープはボトルをキープするサービスであり居酒屋側はボトルを管理しなければなりません。本システムではボトルをVirtualizeして瓶の保存から中身の保存へと考え方を移行します。これにより居酒屋側は場所的な制約やボトルを探す大変さ、客側は期限やどの店にキープしたか忘れるなどのボトルキープの煩わしさから解放されます。
4	宮崎大学	医学部 医学科	大立目 真臣	村瀬 希 藤本 鴻 (長崎大学 医学部)	Remote Hospital 簡単に取り組める疾患治療	主に精神疾患をもつ患者に、遠隔医療として認知行動療法プログラムを提供するビジネスである。また受診前の人々に病院や医療資格者を紹介することで、二者間の巡り逢いの援助を行う。弊社は、遠隔医療システムの提供並びに、医療資格者と患者とをつなぐ役割を果たす。収益は患者が遠隔治療を受ける際、診察料からシステム手数料を徴収することと、医療資格者の会員登録料を考えている。

(学校名50音順 敬称略)

	学校名	学部名	代表者	共同提案者	プラン名	プラン概要
5	 宮崎大学	工学部 環境ロボティクス 学科	木下 大輔	井手 優太 太田 帆南 外山 開成 福永 昌俊	TOBE (トゥービー) What do you want TO BE?	障がい者は、様々なサービスを利用する場面で障がい者 手続きを要求されます。たくさんの手書き書類や電話で の応答が必要な障がい者手続きは、障がい者の社会参加 への障壁になっています。そこで、私たちは、「障がい 者情報データベース TOBE」を提供することで、障が い者が抱える手続きの悩みを解消します。さらに、当 サービスは障がい者だけでなく多くの企業にもメリット を生みます。収益は、障がい者と企業からの手数料で す。
6	 福岡女学院 大学	人文学部 現代文化学科	櫻井 美月	宮川 晏奈 金山 未奈 赤尾 梓 上田 こすも 内田 友梨香 大江 加那子 立石 まお 野村 みみのり 藤原 麻優 松永 未緒 三村 真央 山下 優紀	THE 寺子屋 空白の時間が夢で満たされる 文系女子大生が考案した新学習モ デル これで高校3年生が変わります。	政府が新たな方針として「人づくり革命」を発表するほ ど、現在「人」に関心が向けられています。このビジネ スは、その「人」に重点を置き、早期から人材育成して いくために空白の時間を持つ高校3年生を対象としまし た。「人」が育てば、日本社会の未来は明るくなってい くと考えます。収益は、授業運営から得ます。
7	 有明工業 高等専門学校	電子情報工学科	角 佑都	大塩 悠貴 (佐賀大学大学院) 鴻上 隼南 谷口 幹 藤丸 大也 松本 祐弥 森下 伊織 山崎 幸村 吉富 康英	九州から始める農業革命 担い手づくりを支援する「人に優 しい超精密農業」	本事業では、既存の農家や新たに農業を始めたい人々を サポートする「実践的IoT教材」と「農業支援AIシステ ム」を開発し販売する。近年、超精密農業やスマート農 業など農業の効率化が注目されているが、日本の農業人 口は減少傾向にあり新規就農者獲得は大きな課題であ る。そこで、人材育成に着目しAIを用いた「人に優しい 超精密農業」を提案し、経験や勘による暗黙知を形式知 化することで未来の農業の担い手づくりを支援する。
8	 北九州工業 高等専門学校	生産デザイン 工学専攻	藤原 雛子	田川 誠次郎 野中 敦	スマートグラスで実現する介護 シーンのRPA this is next generation	介護だけではなく、介護記録の書類作成を行う介護職員 の負担は大きい。そうした介護職員の負担を軽減するた め、スマートグラスを用いた記録業務の自動化によりサ ポートを行う。残業時間の軽減や介護に専念できる環境 をプロモーション。事業収益はシステムの販売、メンテ ナンスにより得る。